

まほろば

くるしお

Vol. 25

「まほろば」とは、素晴らしい場所・住みやすい場所という意味。まほろばな黒潮町で頑張る人や団体にスポットを当て、紹介するコーナーです(隔月掲載予定)。



NPO砂浜美術館 公園管理事業部
まつおか 松岡 勝さん

今年、開設40年を迎えた土佐西南大規模公園。これを記念して、現在さまざまな事業が行われています。

そんな土佐西南大規模公園の体育館やサッカー場、わんぱく広場など、皆さんが使う公園や施設の管理を行っている、NPO砂浜美術館公園管理事業部。そこで長年現場作業をしている松岡さんに話を聞きました。

黒潮町で公園管理に関わるようになったきっかけは？

私は、以前は早咲地区で「イエローフラッグ」という、居酒屋のようなバーのような店を開いていたのですが平成18年ごろに業態を変えることとなり、半年ほど愛知県で仕事をしていた。その際に、当時の砂浜美術館の職員の方から「公園の指定管理者として指定されたから帰って来ないか、公園管理をしてもらえないか」と声をかけてもらったことがきっかけで、平成19年に砂浜美術館に入りました。

これまでの活動内容を教えてください

平成21年、サッカー場に芝生を植える取組を初めて行い、芝生が完成した後、平成23年からスポーツ合宿の誘致が始まりました。実は当初スポーツ合宿の誘致をするという話は出ていなかったんです。しかし、こうして現在も続く町のスポーツツーリズムに繋がったので、今思うと「やって良かった」と思います。



手入れ後のパークゴルフ場

また、景観を保つため、道の植栽管理をしたり、体育館、ふるさと総合センター、遊具など



植栽管理を行う松岡さん

今後の課題は？

私はあと2年で定年退職となるので、後継者を育てなくてはならないなど。現在は熟練の職員が多いですが、その職員も退職した後の人材の確保も課題の一つです。技術面、精神面の両方を、しっかり引き継いできれいな公園を残していきたいと思えます。



黒潮町 30年後も暮らしたくなるまちの未来

コンセプト デジタルを通して楽しくなるまち、イノベーションの発信地、生涯輝けるまち
目指す姿 誰一人取り残さないデジタルで暮らしやすく活気あるまち

移住

①まち⇄人マッチング
仕事や趣味志向から最適な移住先をマッチング。近隣市民の顔が分かるので安心して移住することが出来る。町の魅力を発信することで移住が促進、地域間の人混み生まれ関係人口が増加する。

買い物

②家から簡単ショップ巡り
メタバース空間上の「黒潮町ストリート」にある店舗で買い物ができる。購入者の好みやニーズに合わせた品揃えをAIが提案。注文した商品は即日EVカーやドローンで配達される。

観光

③まちの楽しみ方を見える化
町民や観光客みんなの「私の楽しみ方・オススメ」を見える化し、四季や変化に対応したローカルの情報が特設経路と共にマップに反映される。

津波・災害学習

④津波・災害学習
外国人観光客が津波避難タワーで自動翻訳VRゴーグルをつけ、津波や災害について気軽に学習することが出来る。町民も利用することができ防災に役立てる。

仕事

⑤地域クラウドファンディング
黒潮町の新しい事業をみんなで応援する。お金が集まらなくてもクラウドファンディングになる。

自然環境

⑥学びのフィールドは黒潮町
山、海、商業、漁業の新しいチャレンジや取り組みに学びのフィールドとして場所と経験を提供。学ぶが楽し世界が広がる。

農業・漁業

⑦太陽光発電で蓄電・電力管理
役場や道の駅など町中の施設に後エネルギーと創エネルギーの機能を同時に備えることで、実質的な電力消費を0とする。災害時には蓄電した電力を利用し避難所としても活用できる。

⑧フードロスを減らす
需要予測により、無駄な食品ロスを削減し、作業効率もUP。 Moreover, citizens and residents who visit can contribute to the local economy by purchasing locally produced goods.

⑨どこでも農業
遊休農地を活用して、誰でも気軽に農業を楽しめる。地元農家と町民の交流の場にもなる。

ヘルスケア

⑩ケンコウゲーセン
みんなが体や頭を使おうゲームで楽しく健康になる。高齢者や町民が集まる場にもなり、楽しく仲間づくりができる。

⑪黒潮町ヘルスツーリズム
黒潮町に滞在し、景色、食べ物、アクティビティ等の体験で健康に。町内のあらゆる場所が健康状態をトータルし、個人にフィットした健康で健康を整った体と心が手に入る。

つながり・助け合い

⑫コミュニティベース【KUROSHIO TUNAGUJ】
気軽に集まり出会う場所、つながる場所となるコミュニティベース。高齢者から子供まで町民同士のコミュニケーションが広がります。

⑬スキルのマッチング
どこにどんなスキルを持っている人がいるかが分り、今すぐ支援が必要人と今すぐ動ける人をマッチング。人脈の広さを要せず気軽に助けあえる関係ができることにより、町内の雇用創出やキャリアアップにつながる。

MaaS

⑬どこでも医療
町民がいつでも医療MaaS車両でロード医療を受けられる。県外や海外でも受けられない高度な診療も遠隔で簡単に受診が可能。

⑭貨物運搬での移動
人も貨物も運ぶ自動運転車。車内内のスペースを分け、人の移動と貨物の配送を同時に行う。

お問い合わせ 本庁企画調整室 デジタル推進係 ☎ 4312177

「黒潮町ビジョンマップ」が完成しました

これはまちの未来をイラストにすることで、住民みんなが共通認識化することを目的としています。マップの作成には多くの住民の皆さんからアイデアをいただき「30年後も暮らしたくなるまちの未来」をテーマにデジタル技術を活用したまちの未来を描いています。